キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル キュマイラ	ワークス	ヤクザ	カヴァー	
オプショナル		年齢	55（人間年齢）	性別	オス
覚醒	憤怒	衝動	殺戮	初期侵食率	35 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	5	1	0			6
感覚	1	0	0			1
精神	0	0	0	1		1
社会	2	0	0			2

HP	33
行動値	3
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ			交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手【骨の剣】	白兵	6r	6	LV+5		
通常攻撃	白兵	13r		15		完全獣化、進化の大爪、骨の剣、貪欲なる拳、コンセントレイト
通常攻撃80↑	白兵	15r		30		【侵蝕値80↑】完全獣化、進化の大爪、フルパワーアタック、骨の剣、貪欲なる拳、コンセントレイト
大斧投擲（範囲）100	白兵	17r		2D+38		【侵蝕値100↑】完全獣化、進化の大爪、フルパワーアタック、骨の剣、貪欲なる拳、コンセントレイト、ジャイアントグロウス

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

応急手当キット	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
？？？	P	N 憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
進化の大爪	3	2	セットアップ	至近	自身	自動	完全獣化中のみ	
効果： ラウンド中、攻撃力+[LVx3]								
フルパワーアタック	3	4	セットアップ	至近	自身	自動	80↑	
効果： ラウンド中、攻撃力+[LVx5]								
骨の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： シーン中、素手のデータを以下のように変更する。								
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： シーン中、【肉体】を使用したあらゆる判定のダイスを+[LV+2]								
コンセントレイト：エグザイル	2		メジャー					
効果：								
貪欲なる拳	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 判定ダイス+[LV+1]個								
ジャイアントグロウス	1	5	メジャー	武器	範囲（選択）	対決	100↑	
効果： 対象を範囲（選択）に変更。攻撃力+2D								
セリアンスロープ	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「はぁ、はぁ…おどれら、そんなに早く歩くなや…（てちてち）」
「キンキン声でうるさいわ…」
「（酔）も"おぉぉ～～～っなんでわしゃあこんな姿になってもうたんや～～～！せめてもっとカッコいいのになりたかったわ～～～！！」
「何抱いとんねん！！おどれ離せや！！くそっ届かん！！」
「誰がこないなトコで死ぬかアホ。こんなチンケな場所は、ワシの死に場所にゃあ相応しゅうない。」

「…正義感に駆られるんも力試したぁなるんも男の性っちゅうやつじゃけえ、止めはせん。ただあいつに一言くらい声かけたれ言うとんのや。」
「…見栄張っておどれのワガママで女を待たせっぱなしにしちょると…ロクなことにならんど。」
「…この若造が、何を根拠に…お前を心配して出てきたおなごが、すぐそこにおるんじゃぞ！あんな、年端もいかんおなごが…！！今会わんと、もう会えなくなるかもしれんのじゃ！なのにお前、それでも黙って行く言うんか！？」
「…あかん、あかんわ。見どころある奴じゃと思うちょったが、やっぱりまだケツの青いガキじゃけえ。…ワシが、お灸据えたる…」
「…うっさい、わ…ワシの体のことなんぞ、どうでも、ええんじゃ…ワシと、戦り合えや…」
「…くそ、待てや、この、ボケ、が……」

「…やめろ…治すな…そんなもんいらん…」
「いらん言うとるやろが！！頬むから…このまま死なせてくれや…」
「仲間じゃ思うとった奴が、家族の仇じゃと…そんな話聞いて、まともでいられるかい…次は誰を疑えばいいんじゃ、おどれか！？」
「…どうせ永くない命じゃ。おどれら守って死ねるなら…悔いなんぞ無いわ。」
「…あいつらは優しい奴らじゃけえ。ホンマの事教えたら心配するに違いなあわい。わしの為に若ェもんの時間、使わせとうない。」
「…この桜を見るのも、これが最後になるかもしれんのぉ…」
「よぉぉぉく見とれよおどれらァ！！最期にどでかい花火打ち上げちゃるけぇ、覚悟せぇよ！！」
「…なぁ…わしゃあ、天国に行けるじゃろうか…行けたとして、人間の姿で、あいつらに会えるじゃろうか…？」